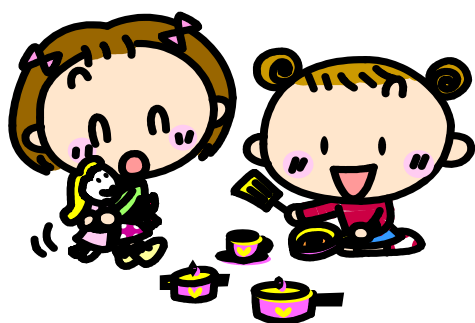


平成28年度 津久見市スタートカリキュラム スタートブック

～つくみっ子の「学びの芽生え」から「自覚的な学び」をつなぐ～



津久見市教育委員会

「学びの芽生え」から「自覚的な学び」をつなぐスタートカリキュラム

幼児期

学びの芽生え

- 楽しいことや好きなことに集中することを通して、様々なことを学んでいく。
- 遊びを中心として、頭も心も体も動かして様々な対象と直接関わりながら、総合的に学んでいく。
- 日常生活の中で、様々な言葉や非言語によるコミュニケーションによって他者と関わり合う。

自立
成長
安心

児童期

自覚的な学び

- 学ぶことについての意識があり、集中する時間とそうでない時間(休憩時間等)の区別がつき、自分の課題の解決に向けて、計画的に学んでいく。
- 各教科等の学習内容について授業を通して学んでいく。
- 主に授業の中で、話したり聞いたり、読んだり書いたり、いっしょに活動したりすることで他者と関わり合う。

【幼児教育】

- 5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)を総合的に学んでいく教育課程
- 子どもの生活リズムに合わせた1日の流れ
- 身の回りの「人・もの・こと」が教材
- 総合的に学んでいくために工夫された環境の構成 など

生活の段差
学びの段差
指導の段差

【小学校教育】

- 各教科等の学習内容を系統的に学ぶ教育課程
- 時間割に沿った1日の流れ
- 教科書が主たる教材
- 系統的に学ぶために工夫された学習環境 など

子どもたちの問題の
低年齢化・多様化

小1プロブレム
等の発生

連携と接続の工夫
が必要

スタートカリキュラム

「スタートカリキュラム」とは？

「スタートカリキュラム」とは、小学校に入学した児童がスムーズに学校生活へ適応していけるように編成した第1学年入学当初のカリキュラムのことです。

入学したばかりの児童に「明日も学校に来たい。」という学校生活に対する意欲と安心感をもたせ、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続をもたらすように、スタートカリキュラムを工夫することが大切です。そこで、入学当初は、「学びの芽生え」から「自覚的な学び」へと連続させることが重要となります。生活科を核として楽しいことや好きなことに没頭する中で生じた驚きや発見を大切に、学ぶ意欲が高まるように活動を構成することが有効です。

【小学校学習指導要領解説 総則編】

特に第1学年入学当初における生活科を中心とした合科的な指導については、新入生が、幼児教育から小学校教育へと円滑に移行することに資するものであり、幼児教育との連携の観点から工夫することが望まれる。

【小学校学習指導要領解説 生活編】

幼児教育との接続の観点から、幼児と触れ合うなどの交流活動や他教科等との関連を図る指導は引き続き重要であり、特に、学校生活への適応が図られるよう、合科的な指導を行うなどの工夫により第1学年入学当初のカリキュラムをスタートカリキュラムとして改善することとした。

スタートカリキュラムのねらい

児童が安心して、学校生活を送ることができるようにすること

学校の生活時程や校舎内の様子、きまりやルールに慣れるための活動

児童が各教科等の学習に意欲的に取り組むことができるようにすること

幼児期の教育との接続を意識した授業等の工夫

学習や生活の基盤となる学級集団をつくること

新しい先生や友達との出会いを楽しむ活動の工夫

スタートカリキュラム実施上の留意点

スタートカリキュラムについては、地域や小学校によって、児童の実態や状況が異なることから、どれくらいの期間、どのような方法で行うかは、それぞれの小学校において判断し、実施されるべきものです。そのような多様性を踏まえた上で、次のような点について配慮することが大切です。

- (1) 幼稚園、保育所等と連携、協力する。⇒幼児教育からの連続性に配慮する。
- (2) 学校全体での取組とする。
- (3) 合科的・関連的な指導の充実を図る。⇒生活科を中心に。

合科的な指導

各教科のねらいをより効果的に実現するための指導方法の一つで、単元又は1コマの時間の中で、複数の教科の目標や内容を組み合わせて、学習活動を展開するもの。

関連的な指導

教科等別に指導するに当たって、各教科等の指導内容の関連を検討し、指導の時期や指導の方法などについて相互の関連を考慮して指導するもの。

【小学校学習指導要領解説 生活編から】

- (4) 学習への興味・関心を大切にする。
- (5) 授業時間や学習環境を工夫する。⇒
- (6) 保護者への適切な説明を行う。

15分程度のモジュールを取り入れるなど、単位時間を柔軟に考えてスタートカリキュラムを計画していきましょう。

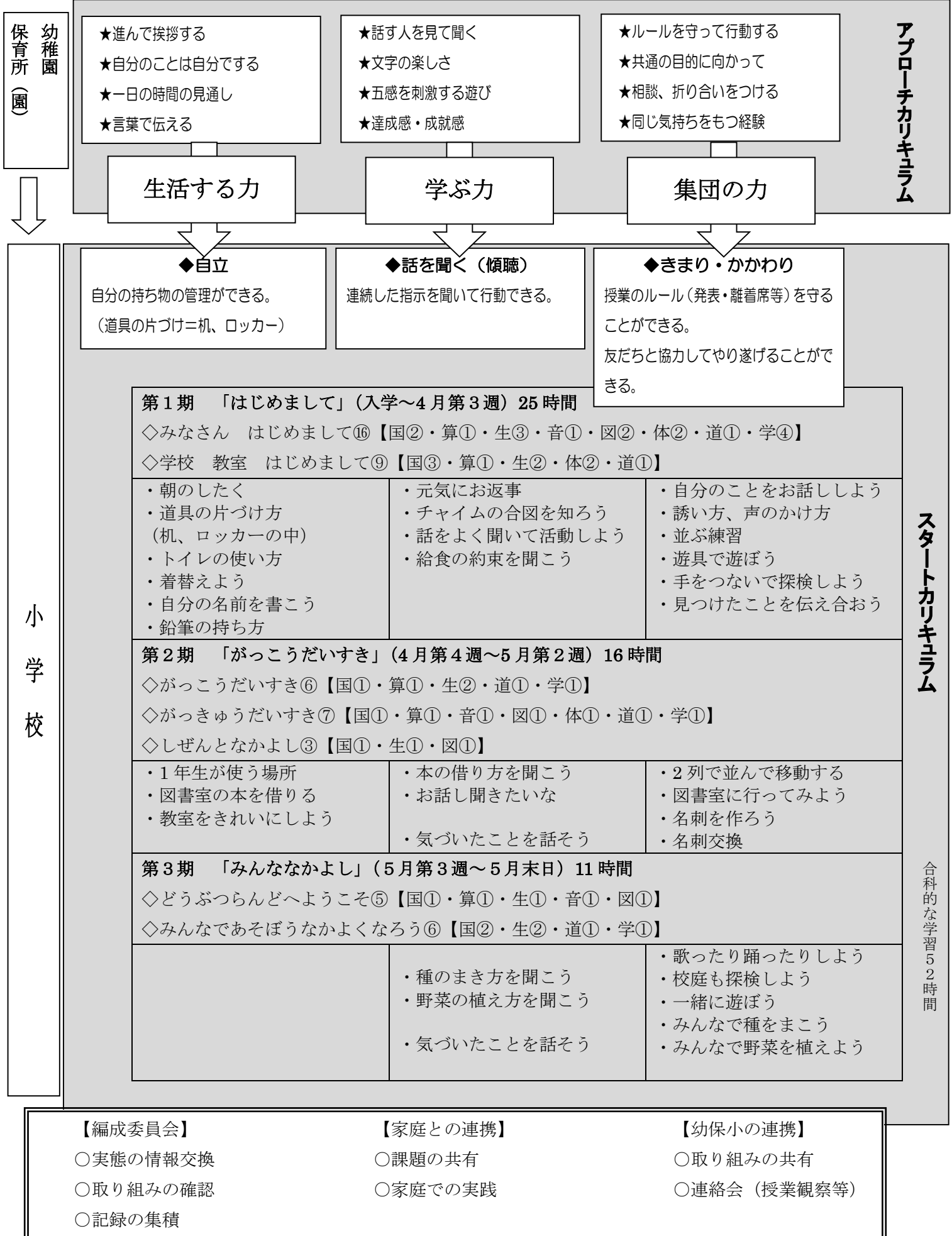
スタートカリキュラム作成の手順

	月	取組	具体的内容
実 態 把 握	4	◆校内小1プロブレム協議会 ◆入学式	●計画・立案 ●園児・児童の様子を観察
	5	◆幼保小連絡会	●幼保小年間交流活動計画の作成
	6	◆交流活動	●情報交換(園児・児童の現状について)
	7	◆校内小1プロブレム協議会	●交流活動等を通して継続的実態把握 ●交流活動の成果と課題
	8	◆保育参観 ◆幼保小連絡会	●情報交換 (配慮や特別な支援が必要な園児について)
	9	◆校内小1プロブレム協議会	●児童の様子を観察
	10	◆第1回就学児情報交換会	●園児の様子を観察(集団行動・話の聞き方等)
	11	◆就学児健康診断	●配慮や特別な支援が必要な園児の活動観察
	12	◆交流活動 ◆幼保小連絡会	●2学期の成果と課題
作 成	1	■カリキュラム作成委員会開催	●作業日程・分担などの確認
	2	◆入学説明会	●保護者にスタートカリキュラムについてお知らせ
	3	◆新入児の学校見学 ◆第2回就学児情報交換会 ◆幼保小連絡会 ◆新入児の確定 ◆校内小1プロブレム協議会 ■スタートカリキュラムの完成	●アンケート調査(幼保指導者・保護者対象に) ●情報交換(配慮や特別な支援が必要な園児について) ●本年度の取組の成果と課題 ●来年度の取組・連携計画 ●学級編成と来年度の行事の確認 ●全教職員に周知徹底
	4	◆入学式 ◆校内小1プロブレム協議会 ◆スタートカリキュラムの実施	●児童の実態に応じて弾力的に実施
	5	◆校内小1プロブレム協議会	●実施したカリキュラムの成果と課題の把握
実 践			

STEP 1	スタートカリキュラム作成のための準備 「スタートカリキュラム作成に関する基本的事項の確認」「組織と日程づくり」
STEP 2	子どもの発達段階や特性を把握する 「子どもの実態把握のための調査(保護者対象に)の実施」「幼稚園・保育園訪問、情報交換」 「一人一人の発達段階や特性の把握」「幼保と小学校の教育内容を比較検討する」
STEP 3	入学当初に子どもたちに身につけさせたい力を話し合う 「子どもの実態を想定する」「入学当初につけたい力を具体的に想定する」
STEP 4	どんな力、どんな習慣をいつまでに身につけさせるか整理する 「優先度を明確にし、入学当初に身につけさせたい力を絞り込む」
STEP 5	指導内容とその配列を決め、スタートカリキュラムを作成する。 「4～5月上旬の学校行事を日程表に位置づける」「週ごとのねらい(テーマ)を設定する」 「1日の学習の流れを考える」 「各指導内容相互の関連や合科的・関連的な指導に配慮し、授業時数を配当する」

スタートカリキュラム事例

【構想図】（佐伯市立鶴岡小学校）



【週案】（佐伯市立鶴岡小学校）

5. 週案

◆学習予定 第（1）週 4月10日～11日

◆重点課題

	月(7)	火(8)	水(9)	木(10)	金(11)
主な行事		始業式		入学式	
朝の活動					読み聞かせ
1時間目					みなさん はじめまして ○生活 ・朝のしたく ・道具の出し入れ ・靴箱やロッカーの使い方
2時間目					○生活 ・トイレや水道の使い方 ・並び方
3時間目					○学級 ・あいさつの仕方 ・帰りのしたく
4時間目					
5時間目					
時 数					生活2 学級1

◆学習予定 第（2）週 4月14日～18日

◆重点課題

	月(14)	火(15)	水(16)	木(17)	金(18)
主な行事	給食開始			地区児童会 心臓検診	P T A総会
朝の活動	読み聞かせ	読み聞かせ	読み聞かせ	読み聞かせ	読み聞かせ
1時間目	みなさん はじめまして ○国語 ・おはなしのききかた	みなさん はじめまして ○生活 ・学校のきまり	みなさん はじめまして ○学級 ・朝の会	みなさん はじめまして ○国語 ・なかよし	みなさん はじめまして ○音楽 ・どんな歌があるかな
2時間目	○体育 ・遊具のつかいかた		○国語 ・名前をかこう	○算数 なかまづくりと かず	○算数 ・なかまづくりと かず
3時間目	○国語(書写) ・鉛筆のもちかた、つかいかた	○図工 ・自分の顔をかこう	○体育 ・楽しくあそぼう	○心臓検診	○体育 ・楽しくあそぼう
4時間目	○学級 ・給食の準備	○学級 ・給食の準備	○学級 ・掃除のしかた	○道徳 ・みんなでながよく	○学級 ・4月のめあて
5時間目	○生活 ・学校たんけん	○生活 ・学校たんけん	○生活 ・学校大好き 友たち大好き	○生活 ・学校大好き 友たち大好き	○国語(参観) ・なかよし
時 数	国語2 生活1 体育1 学級1	生活2 図工2 学級1	国語1 生活1 体育1 学級2	国語1 算数1 生活1 道徳1 行事1	国語1 算数1 音楽1 体育1 学級1

◆学習予定 第(3)週 4月21日～25日

◆重点課題

	月(21)	火(22)	水(23)	木(24)	金(25)
主な行事	体位測定	内科検診			対面式 歓迎遠足
朝の活動	読み聞かせ	読み聞かせ	読み聞かせ	読み聞かせ	読み聞かせ
1時間目	学校 教室 はじめまして ○身体測定	学校 教室 はじめまして ○国語 ・なかよし	学校 教室 はじめまして ○算数 ・なかまづくり とかず	学校 教室 はじめまして ○国語 ・なかよし	歓迎 遠足
2時間目	○視力・聴力検査	○生活 ・対面式の準備 をしよう	○国語 ・なかよし	○算数 ・なかまづくり とかず	
3時間目	○体育 ・楽しくあそぼう		○体育 ・楽しくあそぼう	○国語 ・なかよし	
4時間目	○算数 ・なかまづくり とかず	○図工 ・すきなものの っぱい	○国語 ・なかよし	○音楽 ・どんな歌がある かな	
5時間目	○道徳 ・ありがとうっ ていえますか	○内科検診	○音楽 ・どんな歌がある かな	○生活 ・対面式の準備 をしよう	
時 数	道徳1 算数1 体育1 行事2	国語1 生活1 図工2 行事1	国語2 算数1 音楽1 体育1	国語2 算数1 音楽1 生活1	

◆学習予定 第(4)週 4月28日～5月2日

◆重点課題

	月(28)	火(29)	水(30)	木(5/1)	金(2)
主な行事				尿検査(1次)	
朝の活動	読み聞かせ		音読タイム	視写タイム	読書タイム
1時間目	がっこうだいす き ○国語 ・みんなとたの しく	昭和 の日	がっこうだいす き ○算数 ・なかまづくり とかず	がっこうだいす き ○国語 ・みんなとたの しく ・ひらがな	がっこうだいす き ○国語 ・みんなとたの しく ・ひらがな
2時間目	○算数 ・なかまづくり とかず		○国語 ・みんなとたの しく ・ひらがな	○算数 ・なかまづくり とかず	○算数 ・なかまづくり とかず
3時間目			○体育 ・楽しくあそぼ う	○算数 ・なかまづくり とかず	○体育 ・楽しくあそぼ う
4時間目	○図工 ・しぜんとなか よし		○生活 ・学校大好き 友だち大好き	○国語 ・みんなとたの しく ・ひらがな	○音楽 ・どんな歌があ るかな
5時間目	○道徳 ・まいにちをき もちよく		○国語(書写) いろいろな線を ひこう	○音楽 ・どんな歌があ るかな	○国語 ・あいうえお
時 数	国語1 算数1 図工2 道徳1		国語2 算数1 生活1 体育1	国語2 算数2 音楽1	国語2 算数1 音楽1 体育1

スタートカリキュラムの充実に向けて

スタートカリキュラムの充実に向けては、教育課程に位置付け、学校として組織的に行い、評価し、改善することが重要となります。1年担任だけの取組ではなく、小学校生活6年間を支えるカリキュラムであることを教職員全体で理解し、取組を充実させていくことが大事です。

また、幼稚園、保育所等の教職員と一緒にスタートカリキュラムを検討したり、保護者アンケートを行い、その結果を反映させたりすることで、より円滑な接続のためのスタートカリキュラムを編成することができます。津久見市全ての小学校において、一人ひとりの児童が、安心して義務教育のスタートが切れるよう、各学校の実態に応じてスタートカリキュラムの充実に向けた取組を工夫しましょう。



【平成28年度の津久見市スタートカリキュラムの取組について】

- 小学校において、これまで「スタートカリキュラム」がある程度の形で存在している学校については、「スタートカリキュラム作成の手順」を参考にし、平成28年度4月からの実施を目指します。
- 小学校において、「スタートカリキュラム」が存在していない学校については、「スタートカリキュラム作成の手順」を参考にし、平成29年度4月からの実施を目指して平成28年度4月から作成に向けて取り組みます。
- 中学校においても、中学校生活がスムーズにスタートできるよう、学校や地域・子どもの実態に応じて必要な範囲で、平成29年度4月からの実施を目指して平成28年度4月から作成に向けて取り組みます。

